

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 3 月 3 日 (2016.3.3)

【公表番号】特表 2015-508248 (P2015-508248A)  
 【公表日】平成 27 年 3 月 16 日 (2015.3.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-017  
 【出願番号】特願 2014-553328 (P2014-553328)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

H 0 4 N 19/577 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/70

H 0 4 N 19/577

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 12 日 (2016.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像データ内の予測されたピクチャを復号するための参照ピクチャリスト L 0 および L 1 を生成する方法であって、前記方法は、

復号ピクチャバッファ (D P B) から参照ピクチャの第 1 の順序付けリスト RefPicSetCurrTempList0 を生成するステップであって、前記リストは、現在のピクチャよりも時間的に前の参照ピクチャが前記 D P B にある場合は、それらの参照ピクチャが前記現在のピクチャからの時間的距離に従って順に列記され、次いで前記現在のピクチャよりも時間的に後の参照ピクチャが前記 D P B にある場合はそれらの参照ピクチャが前記現在のピクチャからの時間的距離に従って順に列記され、次いで長期参照ピクチャが前記 D P B にある場合はそれらの参照ピクチャが前記 D P B に格納されている順序で列記されるように順序付けられる、ステップと、

前記 D P B から参照ピクチャの第 2 の順序付けリスト RefPicSetCurrTempList1 を生成するステップであって、前記リストは、前記 D P B に前記現在のピクチャよりも時間的に後の参照ピクチャがある場合はそれらの参照ピクチャが前記現在のピクチャからの時間的距離に従って最初に順に列記され、次いで前記現在のピクチャよりも時間的に前の参照ピクチャが前記 D P B にある場合はそれらの参照ピクチャが前記現在のピクチャからの時間的距離に従って順に列記され、次いで長期参照ピクチャが前記 D P B にある場合はそれらの参照ピクチャが前記 D P B に格納されている順序で列記されるように順序付けられる、ステップと、

RefPicSetCurrTempList0 および RefPicSetCurrTempList1 からそれぞれ参照ピクチャを選択することによりリスト L 0 および L 1 の少なくとも一方を生成するステップと、

リスト L 0 を変更リストとすべき場合は、リスト L 0 を生成するステップは、参照ピクチャリスト L 0 の参照ピクチャごとに、前記第 1 の順序付けリストを指す第 1 のインデックスを受信し、前記第 1 の順序付けリスト内でそのインデックスで特定される参照ピクチャを L 0 内の対応するエントリに列記するステップと、

リスト L 1 を変更リストとすべき場合は、リスト L 1 を生成するステップは、参照ピクチャリスト L 1 の参照ピクチャエントリごとに、前記第 2 の順序付けリストを指す第 2 の

インデックスを受信し、前記第 2 の順序付けリスト内でそのインデックスで特定される参照ピクチャを L 1 内の対応するエントリに列記するステップと  
を備える方法。

【請求項 2】

リスト L 0 および L 1 のどちらかを変更リストとすべきかどうかを示すデータを読み込むステップをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

リスト L 0 を変更リストとしない場合、リスト L 0 を生成するステップは、第 1 の指定された数のエントリまで RefPicSetCurrTempList0 から順にエントリを取り出すステップを備え、

リスト L 1 を変更リストとしない場合、リスト L 1 を生成するステップは、第 2 の指定された数のエントリまで RefPicSetCurrTempList1 から順にエントリを取り出すステップを備える、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記読み込むステップは、リスト L 0 に関して構文要素 ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l0 を読み込み、リスト L 1 に関して構文要素 ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 を読み込むステップを備える、請求項 2 または 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のインデックスおよび前記第 2 のインデックスは、ゼロから前記 DPB 内のピクチャ数までの範囲である、請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 6】

構文要素 ref\_pic\_set\_idx は、前記第 1 のインデックスおよび前記第 2 のインデックスを指定するために使用される、請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 7】

構文要素 ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 を読み込むステップをさらに備え、第 1 の値に等しい ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 は、L 1 を指定する前記構文要素 ref\_pic\_set\_idx が存在することを示し、第 2 の値に等しい ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 は、L 1 を指定するこの構文要素が存在しないことを示す、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

構文要素 ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l0 を読み込むステップをさらに備え、第 1 の値に等しい ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l0 は、L 0 を指定する前記構文要素 ref\_pic\_set\_idx が存在することを示し、第 2 の値に等しい ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l0 は、L 0 を指定するこの構文要素が存在しないことを示す、請求項 6 または 7 に記載の方法。

【請求項 9】

構文要素 ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 を読み込むステップをさらに備え、第 1 の値に等しい ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 は、L 1 を指定する構文要素 ref\_pic\_set\_idx が存在することを示し、第 2 の値に等しい ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1 は、L 1 を指定するこの構文要素が存在しないことを示す、請求項 6 乃至 8 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 のインデックスが存在しない場合、前記第 1 のインデックスはゼロに設定され、前記第 2 のインデックスが存在しない場合、前記第 2 のインデックスはゼロに設定される、請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

P または B スライスヘッダを復号するために参照ピクチャリストのデコードを初期化することを備える方法であって、前記方法は、

cldx=0

NumRpsCurrTempList=NumRpsStCurr0+NumRpsStCurr1+NumRpsLtCurr

```

for(i=0;i<NumRpsStCurr0;cldx++,i++)
    RefPicSetCurrTempList0[cldx]=RefPicSetStCurr0[i]
for(i=0;i<NumRpsStCurr1;cldx++,i++)
    RefPicSetCurrTempList0[cldx]=RefPicSetStCurr1[i]
for(i=0;i<NumRpsLtCurr;cldx++,i++)
    RefPicSetCurrTempList0[cldx]=RefPicSetLtCurr[i]

```

により第1の一時リストRefPicSetCurrTempList0を構築するステップと、

フラグref\_pic\_list\_modification\_flag\_l0が1である場合、RefPicSetCurrTempList0およびnum\_ref\_idx\_l0\_active\_minus1を入力としてピクチャリスト変更処理を呼び出すことによりリストL0を構築するステップと

を備える方法。

#### 【請求項12】

リストL0を生成するために使用されるピクチャリスト変更処理は、refIdxLXを、前記参照ピクチャリストL0(RefPicListL0)を指すインデックスとして設定することと、

refIdxL0がnum\_ref\_idx\_l0\_active\_minus1 + 1より大きくなるまで

RefPicList0[refIdxL0++]=RefPicSetCurrTempL0[ref\_pic\_set\_idx]

を反復することと

を備える、請求項11に記載の方法。

#### 【請求項13】

フラグref\_pic\_list\_modification\_flag\_l0が0である場合に、RefPicSetCurrTempList0の最初のnum\_ref\_idx\_l0\_active\_minus1 + 1個のエントリを取り出すことによりRefPicList0を構築するステップをさらに備える、請求項12に記載の方法。

#### 【請求項14】

Bスライスヘッダを復号する場合に、

cldx=0

NumRpsCurrTempList=NumRpsStCurr0+NumRpsStCurr1+NumRpsLtCurr

```

for(i=0;i<NumRpsStCurr1;cldx++,i++)
    RefPicSetCurrTempList1[cldx]=RefPicSetCurr1[i]

```

```

for(i=0;i<NumRpsStCurr0;cldx++,i++)
    RefPicSetCurrTempList1[cldx]=RefPicSetCurr0[i]

```

```

for(i=0;i<NumRpsLtCurr;cldx++,i++)
    RefPicSetCurrTempList1[cldx]=RefPicSetLtCurr[i]

```

により第2の一時リストRefPicSetCurrTempList1を構築するステップをさらに備える、請求項11乃至13の何れか一項に記載の方法。

#### 【請求項15】

フラグ(ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1)が0の場合に、RefPicSetCurrTempList1の最初のnum\_ref\_idx\_l1\_active\_minus1 + 1個のエントリを取り出すことによりリストL1(RefPicList1)を構築するステップをさらに備える、請求項14に記載の方法。

#### 【請求項16】

フラグ(ref\_pic\_list\_modification\_flag\_l1)が1である場合に、RefPicSetCurrTempList1およびnum\_ref\_idx\_l1\_active\_minus1を入力として参照ピクチャリスト変更処理を呼び出すことによりリストL1(RefPicList1)を構築するステップをさらに備える、請求項14または15に記載の方法。

#### 【請求項17】

RefPicList1を生成するために使用される前記参照ピクチャリスト変更処理は、

refIdxL1を、参照ピクチャリストRefPicListL1を指すインデックスとして設定することと、

refIdxL1がnum\_ref\_idx\_l1\_active\_minus1 + 1より大きくなるまで

RefPicList1[refIdxL1++]=RefPicSetCurrTempL1[ref\_pic\_set\_idx]

を反復することと

を備える、請求項 16 に記載の方法。